

1. 科目名 (単位数)	認知症の理解Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	SNMP3113
2. 授業担当教員	先崎 章		
4. 授業形態	講義、質疑応答形式を併用	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>認知症の理解Ⅰをふまえ、認知症の医学的、行動的、心理的、社会福祉的概要の理解をさらに深めていきます。将来社会人となってから、他の職員に引けをとらないだけの知識の習得を目指します。老人医療、地域社会、精神保健および精神保健福祉制度についても関心がいくように、話題を展開します。すなわち、精神疾患 (含、認知症) の増加、障害者概念の広がりにより、平成 25 年度から施行された新たな医療計画に 5 疾病 5 事業の一つとして精神疾患 (含、認知症) が加わり、また同時に (介護保険法に準ずる形で) 地域障害者総合支援法がスタートしました。最近の福祉・医療の概要、動向についても理解を深めていきます。</p> <p>原則として教科書『認知症ケア標準テキスト 改訂・認知症ケアの実際Ⅱ：各論』日本認知症ケア学会編 (株) ワールドプランニング の内容に沿って学習を進めていきます。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士として必要な認知症の知識を身につける。</li> <li>2. 脳の機能や老人の心理や精神疾患についての理解を深め、説明することができる。</li> <li>3. 認知症に付随する身体症状や介護についての視点も身につける。</li> <li>4. 家族の力や地域資源を活かす視点を身につける。</li> <li>5. 認知症や高齢者に関する制度の理解を深め、説明することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>毎回、出席票を提出していただきます。 なるべく講義の中で時間をとって、発表していただきます。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】日本認知症ケア学会編『認知症ケア標準テキスト 改訂 6 版・認知症ケアの実際Ⅱ：各論』 (株) ワールドプランニング。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 『最新・介護福祉士養成講座 13 認知症の理解第 2 版』 (「認知症の理解Ⅰ」で使用した教科書)</p> <p>【参考書】山口晴保編『認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第 2 版』協同医書出版社。 『新・精神保健福祉士養成講座 1 精神疾患とその治療 第 2 版』中央法規。 東京福祉大学編『社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 認知症の介護や支援の原則や方法について、明瞭かつ論理的な説明をすることができるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎回の提出物、授業態度 総合点の 50%</li> <li>2 課題レポート 総合点の 10%</li> <li>3 復習テスト (随時実施) 総計点の 40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>基本的な知識を習得するためには、地道な学習活動と基本事項を記憶することが必要です。認知症ケア専門士認定試験は実務経験 3 年以上必要な民間資格で、卒業後 3 年経過しないと受験できません。しかしその認定試験問題を意識することによって、具体的な学習到達レベルを、各自が把握することができます。この試験の「認知症ケアの基本」および「認知症のケアの実際Ⅱ：各論」分野の合格レベルを目指します。この認知症ケア専門士認定試験用の教科書を使用します。また基礎事項の確認として、「認知症の理解Ⅰ」で使用した教科書『最新・介護福祉士養成講座 13 認知症の理解』も復習用として使用します。</p>		
13. オフィスアワー	講義の前後の時間、あるいは木曜日 (授業、会議のない時間帯)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、認知症Ⅰの復習	事前学習	「認知症Ⅰ」配布プリントの復習
		事後学習	復習配布プリントの復習
第 2 回	行動・心理症状 (BPSD) とその対応—基本編	事前学習	教科書で BPSD の箇所を読んでくる
		事後学習	BPSD についての配布プリントの復習
第 3 回	行動・心理症状 (BPSD) とその対応—応用編	事前学習	教科書該当部分を読んでくる
		事後学習	BPSD についての配布プリントの復習
第 4 回	リハビリテーション—基本編	事前学習	リハビリテーションの興味ある箇所を読んでくる
		事後学習	リハビリについての配布プリントの復習
第 5 回	リハビリテーション—応用編	事前学習	教科書該当部分を読んでくる
		事後学習	リハビリについての配布プリントの復習
第 6 回	行動・心理症状 (BPSD) の対応とリハビリテーション (第 2 回～第 5 回のまとめも含む)	事前学習	第 1～5 回の配布プリントの復習
		事後学習	BPSD・リハビリについてまとめる
第 7 回	薬物療法の知識	事前学習	教科書の薬物療法の箇所を読んでくる
		事後学習	薬物療法についての配布プリントの復習
第 8 回	非薬物療法の知識	事前学習	教科書の非薬物療法の箇所を読んでくる
		事後学習	非薬物療法についての配布プリントの復習
第 9 回	施設・在宅における環境支援	事前学習	教科書の環境支援の箇所を読んでくる
		事後学習	環境支援についての配布プリントの復習
第 10 回	身体的兆候の理解と対応	事前学習	教科書の身体的兆候の部分を読んでくる
		事後学習	身体的兆候についての配布プリントの復習
第 11 回	薬物療法と身体的兆候 (第 7 回～第 10 回のまとめ)	事前学習	第 6～10 回の配布プリントの復習

	含む)	事後学習	薬物/非薬物療法・環境支援・身体的兆候についてまとめる
第12回	認知症患者治療ガイドライン2017 ケアの実践的プロセス・アセスメント方法	事前学習	認知症患者治療ガイドラインを調べる
		事後学習	実践的プロセス・アセスメント方法についての配布プリントの復習
第13回	家族への支援・チームアプローチ、介護とICFの視点	事前学習	ICFについて調べる
		事後学習	チームアプローチについての配布プリントの復習
第14回	全体のまとめ	事前学習	第1～13回の配布プリントの復習
		事後学習	認知症理解について学んだことを一つずつ確認する
第15回	倫理、ターミナルケア、最近の新聞記事	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる
		事後学習	配布した新聞記事、教科書を再度、総復習する